

第28号
平成23年5月9日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



3月28日、県が新池川の水質浄化と共に生活排水への意識を高めることを目的とした「植栽いかだ」が設置され、「新池川をきれいにする会」の会員と鳴門第一中学校の生徒らが、カキツバタの苗をポットに植え付け、「植栽いかだ」にはめ込みました。「新池川をきれいにする会」は、昨年より新池川の水の浄化を目指してEMダンゴを投入しており、今年からは川沿いの景観を良くしようとシバザクラを植えています。

緑綬褒章受賞によせて

鳴門市花街道・地域づくりネットワークは、昨秋、緑綬褒章を頂き、浜田顯次代表が皇居において天皇陛下から拝謁を賜りました。

緑綬褒章の団体受章は徳島県では初めてと伺いましたが、日ごろの地道な実践活動が評価されたことに加えて団体受章は二重の喜びであり、今後の励みとなりましょう。これもひとえに地域を良くしたいとの市民の熱い思いの結果であり、活動を支えてくださった方々のおかげです。ありがとうございます。

長年事務局を勤めさせていただいた立場から経緯に触れますと、27年前早期退職した私は地域の草抜きを役員さんに申し出ました。あちこちに雑草は遠慮なく生えて失業の心配なし。心中密かに「花のまちさいた」の夢を描き、現役市民として生きていけることが何より嬉しかったのです。

明日はどこかの草抜きをしようかとわくわくしながら眠るような毎日でしたが、次第に志を同じくする方があちこちで活動されるようになりました。草の根ネットワークの種まきが始まりかけていたのです。共通する夢は地域を自分たちで良くしたいと思う創造的な営み「花を手がかりのまちづくり」でした。

鳴門市花街道・地域づくりネットワーク
顧問 村元 信江

平成元年、有志7人が活動の支援組織をつくりパーバテナテネラの苗を育て「花のまちづくり」を広く呼びかけてさらに広がりをもせ、内容もはまぼう1万本運動や、友好コスモス運動に伴うドイツ・青島とのコスモス交流の発展、音楽劇協力・コスモス列車や周遊バスの運行。国文祭協力の他、市街地や観光ポイント緑化、環境問題など多彩となり、官民2人3脚での取り組みが浸透中です。今後とも皆様と共に創造的なまちづくりのお役に立てることを願っています。

(勲章と褒章について)

褒章は勲章と同じく功績のある人を表彰するものですが、勲章との違いは、勲章はその人の生涯を通しての功績を総合的に判断して授与されるのに対して、褒章は特定の表彰されるべき顕著な事績に対して授与されます。

(緑綬褒章について)

自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し、徳行顕著である者。(・・ほぼ20年以上)

東日本大震災と南海地震への備え

里浦町自主防災会連合会 松下 恭司

大震災から一ヶ月、犠牲になられた方々の御冥福と被災地の復興を心からお祈りいたします。
今、私たちがしなければならないことは、被災地への支援を息長く続けるとともに、多くの犠牲のもとに残された尊い教訓を生かして南海地震に備えることだと思います。

このたびの東日本大震災は、政府も専門家も考えていなかった想定外の巨大地震（M9）でありました。世界に自慢してきた津波防潮堤を軽々と超えた大津波は多くの市街地を壊滅させました。

同じ海溝型の地震である東海・東南海・南海地震は3連動の危険性がさらに高まったことから、国に先駆け徳島県では被害想定の見直しも始まりました。

津波から身を守るには、「いち早く高台などに逃げるしかありません。」

鳴門市内で一番先に津波が到達する里浦町では、「地震、イコール津波、即避難」市からの避難指示を待つことなく揺れがおさまったら速やかに自主避難するよう呼びかけ津波避難訓練も重ねてきましたが、さらにこの意識を住民の皆様徹底すると共に津波一時避難場所（高台）の確保に努めたいと考えています。



徳島県津波浸水予測調査（平成16年3月）

地区	最大津波高さ (m)	津波到達時間 (分)
里浦海岸	4.3	46
岡崎海岸	3.6	50
鳴門海岸	4.2	49
室 港	2.3	52
栗田漁港	1.9	62
折野漁港	1.9	68

近くに山や高台がある地域は駆け上られる道（昔の獣道）を自分たちで確保しておきましょう。

また、地震の揺れにより室内で怪我をすると迫り来る津波や火災から逃げることもできませんし御近所との助け合いもできません。

住宅の耐震化とともに家具類を固定して室内を安全にすることが「自分と家族の命を守り地域を守る最も重要な防災対策」です。各ご家庭で対策を実行しましょう。

お気軽に見学及び一日体験へお越しください

①モモの会 おはなしボランティア
活動日 毎月第2・3・4水曜日
10:00~12:00
場 所 鳴門市立図書館2階 視聴覚室

②環境ボランティア
活動日 毎月第2土曜日
10:00~11:30
(雨天中止)
場 所 鳴門市立図書館 館庭

都合により日程が変更になる場合があります。事前にご連絡をお願いします。

◎問い合わせ先
NPO法人「ふくろうの森」
☎・FAX 088-685-0389

ボランティア募集

「海拔1000mでの、汗かき緑のボランティア2011」

日 時 平成23年5月15日(日)
10:00~15:00
(集合9:30上勝町・環 on)
場 所 徳島県上勝町高丸山・千年の森 / 遊学の森エリア18
概 要 自然の森が復活する為の下草刈り作業
持参物 長靴か運動靴・帽子・軍手・弁当・飲み物・タオル・あれば、使い慣れた鎌(作業できる服装で来てください)

募集締切り 平成23年5月13日(金)

◎申し込み・問い合わせ先
NPO法人 環境とくしまネットワーク
TEL 080-5666-2276
FAX 088-687-2276

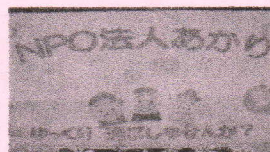
地域と共に

当法人は、平成22年9月より鳴門市瀬戸町堂浦で通所介護及び予防通所介護事業所「あかりデイサービス瀬戸」を運営しています。

現在介助・介護が必要なお年寄り、第2次世界大戦を経験し、終戦後の経済成長をしてきた日本を支えた世代です。その世代の人達が一番欲しかったのは自分の家（城）だったのではないのでしょうか。障子・襖・畳・土壁、そんな家を夢見て働き、手に入れ、一生懸命家族を守り生きてきた人達だと思います。そんな人達に温もりのある家、温かい心で接する事により、穏やかに元気な1日1日を過ごして欲しいと考えています。そんな気持ちでごくありふれた普通の民家を利用した定員10名の施設です。

あかりデイサービス瀬戸の特徴は、摂食・嚥下（食べる・飲み込む）を最も重要視している事です。高齢になると、老化や病気のために嚥下障害が起こりやすくなります。嚥下障害とは、食べた物が気管或いは肺に入り微熱が続いたり、肺炎（誤嚥性肺炎）になるなど、誰にでも起こり得る障害です。私たちは、いつまでも“好きな物を美味しく食べてもらいたい”“元気で生き生きとした生活を送って欲しい”と願っています。

NPO法人あかり 担当者 新開 正規



現在、当施設をご利用頂いている要支援・要介護の方は、程度の違いはありますが全ての利用者に嚥下障害があります。その為に、1ヶ月1~2回程度、専門職を招き摂食嚥下について（嚥下食の作り方・嚥下しやすい食べ物・嚥下しにくい食べ物等）の勉強会を実施しています。今後この勉強会を他の団体の希望者（在宅介護をされている方・老人会・婦人会等）に各地区の公民館・集会所などを利用させていただき、摂食・嚥下の知識をともに学びたいと考えています。

地域の高齢者に元気でいてもらうということは、その地域が活性化することにも繋がります。また「あかりデイサービス瀬戸」は“Here We Are（私たちがここにいる）”の思いから、週に1回程度地域の誰もが気軽に立ち寄れる“ふれあいの居場所”とし、運営したいと計画しております。是非、気軽にお立ち寄りください。

①「ものづくり・遊びづくり」から学ぶ 田舎寺子屋～其の①/春編

日時 平成23年5月29日（日）
10:00～15:00
（集合9:00徳島市内）
場所 徳島県上勝町榎原の棚田と高丸山
概要 日本棚田百景の棚田での田植え体験と森林学習会。当団体の専門インストラクター指導による自然とものづくり其の中に遊び心を満喫できる1日学習会
（徳島市内から専用バスにて送迎あり）
対象 小学生と保護者（先着10組）
参加費 1人700円（保険代）
募集締切り 平成23年5月25日（水）
※この活動事業は、平成23年度子どもゆめ基金の助成活動事業

②「環境について考える 風呂敷エコ変化（へんげ）」講習会

日時 平成23年6月26日（日）
13:00～15:00
場所 香川県観音寺市市民会館 第3会議室
概要 地球温暖化防止・レジ袋削減大作戦環境学習会として四国内での地域普及推進活動事業

③「小夜の上勝竹灯り2011」

日時 平成23年7月2日（土）
19:00～21:00
場所 徳島県上勝町旭・「古民家環境体験施設一環ON」
概要 全国ライトダウンキャンペーン協賛事業で4年目となります。今年は「優しい光の中での癒しの調べ」一手作り竹灯籠と小さな音楽会
参加費 無料
募集締切り 平成23年6月30日（水）
翌日7/3には同会場にて、「環づくり四国/限界集落から考える地域資源再生フォーラム」を平成23年度地球環境基金助成活動事業の一環で開催予定

行事のお知らせ

【申し込み・問い合わせ先】
NPO法人 環境とくしまネットワーク
TEL 080-5666-2276
FAX 088-687-2276



「介護予防ボランティアとして」

太極拳を楽しむ「パンダの会」

会長 太田 晴清

私たちの会は、今から7年前に中国の青島大学から鳴門教育大学に留学生として来られていたハオ・リャンさんという一人の女性の熱意によって始まることとなります。

「鳴門市民に対して、介護予防を目的としてボランティアで太極拳の指導に当たっていただけないだろうか」と言う申し出に、彼女はその場で快く快諾をしてくれました。

数ヶ月後、太極拳を学びたいという人達がボランティアセンターに集まり話し合いが持たれた結果、太極拳を楽しむ「パンダの会」という介護予防ボランティアが誕生することになりました。平成16年4月28日のことです。その時参加された方は、12名の方々でありました。会長に山本太一氏を決め活動が始まることになりました。

その後、山本会長さんを中心に「パンダの会」の会員一人ひとりが大変な努力をされ今日の基礎をつくられました。

7年を経過した現在、市内には、撫養支部、板東支部、瀬戸支部の3支部が結成され、総勢150名の組織に発展してきております。

今、会員一人ひとりが介護予防ボランティアとして太極拳を通して自分自身の健康づくりを心がけながら、自分たちの周りの人達に向けても、積極的に介護予防の啓発に努めており、1,000人の仲間づくりを目指して活動を展開しているところです。



太極拳を楽しむ「パンダの会」の皆さん

主な活動

太極拳による介護予防普及活動の推進

1) 支部活動の実施

- 撫養支部 毎水曜日 10:30~12:00
キョーエイ鳴門駅前店4Fホール
- 板東支部 毎木曜日 10:30~12:00
板東公民館
- 瀬戸支部 毎月曜日 10:00~11:30
大元神社境内

2) 太極拳の普及と介護予防標識の募集 など
会費 1ヶ月1,000円

見学も出来ますので是非一度おいでください。

【問い合わせ先】

事務局 〒772-0031
鳴門市大津町木津野字内田7-10
コミュニティはうすTSUDO | 内
TEL&FAX 088-685-6177

標語

夏休み孫はプール

ばあばは太極拳で

気分爽快

桑内 昭子さん

笑顔 おしゃべりお友達

皆んな集まれ 太極拳

うららさん

太極拳で 筋力アップ

体力アップ

青山 美子さん

助成金情報

第23回(2011年度)地域福祉を支援する「わかば基金」

◇支援対象(第1部門、第2部門共通)

地域に根ざした福祉活動を展開しているグループ・NPO法人

◇第1部門(支援金贈呈)

1グループにつき、最高100万円

◇第2部門(リサイクルパソコン贈呈)

1グループにつき、3台まで(50~100台)

◇締切り日 平成23年5月31日(必着)

◇問い合わせ先 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係

☎03-3476-5955

